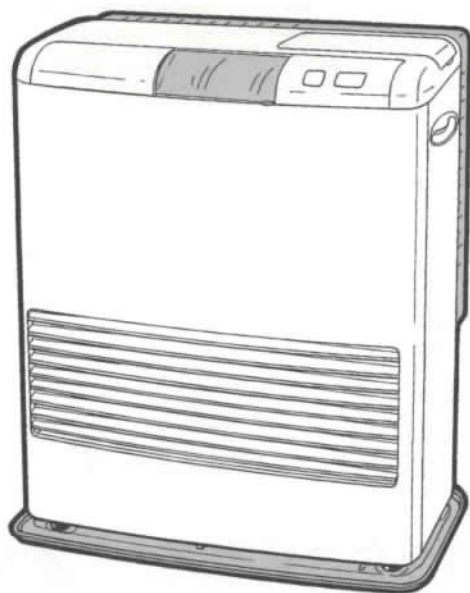
HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

日立 温風 クリアヒーター

〈密閉式石油ストーブ〉

KH-B45D KH-B55D 形

このたびは、日立温風クリアヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用の際はこの取扱説明書をよくお読みになり、ご家族全員で正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは保証書、ご相談窓口一覧表とともに、大切に保存してください。

取扱編

■ご使用前に

■ご使用方法

■点検・その他

工事編

安全のため必ずお守りください

絵表示について

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書および製品への表示では、ご使用になる方への危害や損害を未然に防止するために、次のように区分して表示しています。その内容をよく理解してからご使用ください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、*物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示しています。

絵表示の意味

この絵表示は「禁止」事項を示しています。

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。

●火災の原因になります。

⚠警告

外れ危険

給排気筒(管、ホース)が正しく接続されているか確認してください。

●外れていると、運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。

●衣類や紙などでふさぐと、火災の原因になります。

給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多いときには、給排気筒トップのまわりが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは除雪してください。

●運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

据付けや移動は販売店へ依頼する

据付けや移動は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

●ご自分で据付け工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。

⚠注意

カーテン・可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。

●火災の発生するおそれがあります。

温風に直接当たらない

温風に直接長時間当たらないでください。

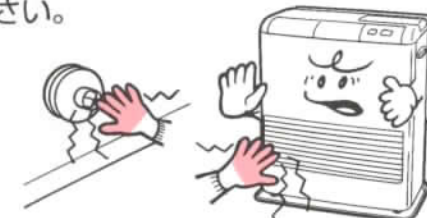
●低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
●お子様や自分の意志で体を動かせない方を、温風が直接当たる場所に寝かせないでください。

給油時消火

給油は必ず消火してから行なってください。

●火災のおそれがあります。
こぼれた灯油は、よく拭き取ってください。

高温部接触禁止

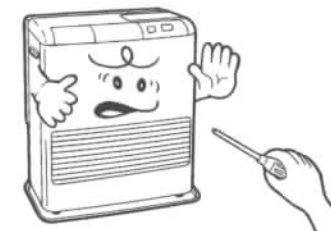
燃焼中や消火直後は、高温部(温風吹出口・給排気筒トップなど)に手をふれないでください。

●やけどのおそれがあります。

油もれ確認

給油口口金は確実にしめてください。

●給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。
●口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金がはずれて、火災のおそれがあります。

分解修理の禁止

不完全な修理や改造は危険です。

●故障、破損したときは使用しないでください。

異常時使用禁止

万一異常を感じたときは使用しないでください。

●異常燃焼のおそれがあります。
●使用中に異常を感じたり、地震などの緊急の場合は、あわてずに消火してください。

改造使用の禁止

改造して使用しないでください。
また、ストーブや給排気筒には、床暖房用熱交換器などを取付けないでください。

●火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。

安全のため必ずお守りください

⚠注意

スプレー缶に注意

スプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。
●熱でスプレー缶の爆発や火災のおそれがあります

ストーブの近くでヘアスプレー等の引火物は使用しないでください。
●火災の原因となります。

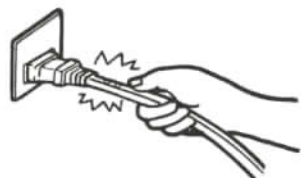
電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。

電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。

●火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む

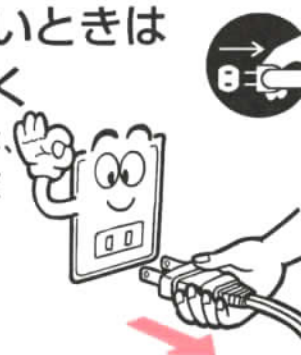
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
●火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

●火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物などを除去してください。

●ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

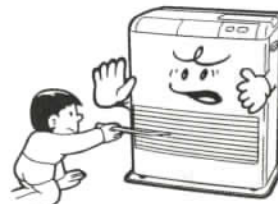
●感電の原因になります。

高地(標高1500m以上)では使用できません

●不完全燃焼の原因になります。

温風吹出口に物を入れない

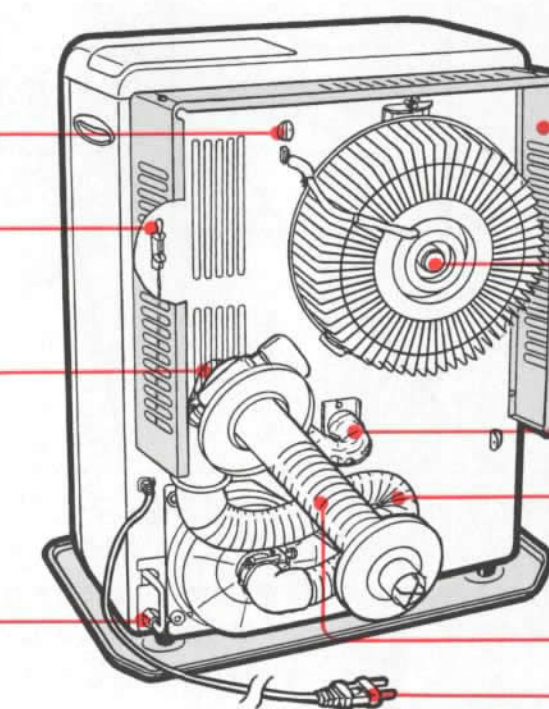
温風吹出口など開口部に針金等の金属や紙等の燃えやすいものを入れないでください。

●感電や火災の原因になります。

お願い

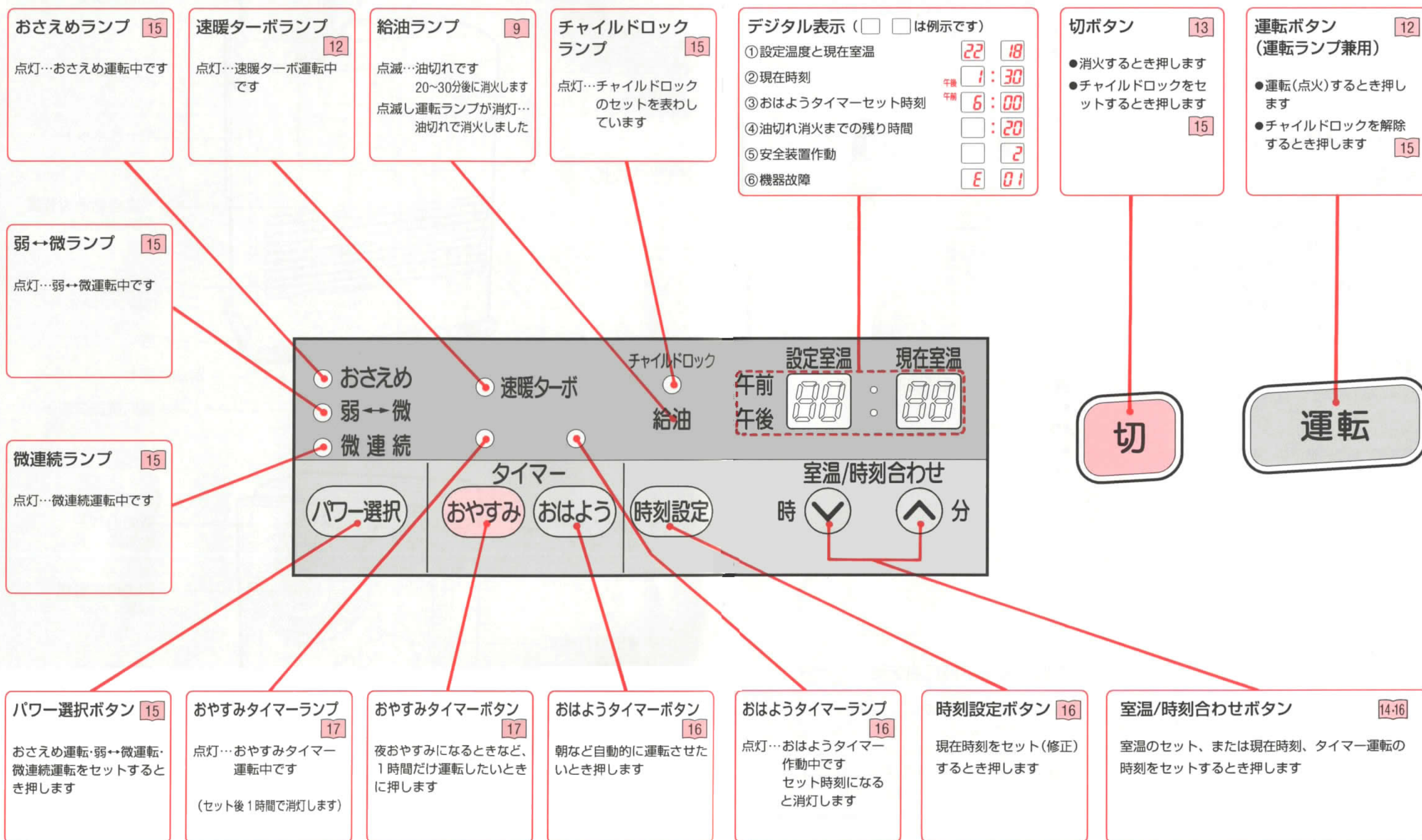
●熱に弱いじゅうたんやフローリング・床の上で長時間使用すると、変色したりそり返ることがあります。熱に強いポリエステル系のマットなどを敷いてください。

●このストーブを使用すると、お部屋が乾燥し、健康上および家屋や家具等に悪い影響を与えることがあります。乾燥する場合は、加湿器をお求めのうえ、併用してください。

各部のなまえ

外観図

各部のなまえ

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

操作部・表示部のなまえとはたらき

使用前の準備

燃　料

燃料は灯油(JIS1号灯油)を必ず使用してください。

変質灯油、汚れた灯油、水のまじった灯油などは、絶対に使用しないでください。

●ガソリン、シンナーなど、揮発性の高いものを使用すると、火災の原因になります。

変質灯油・不純灯油とは

変質灯油

●昨シーズンより持ち越したもの
●日光のあたる場所で長期間保管したもの
●高温の場所で長期間保管したもの
●容器のふたをあけて長期間保管したもの
●乳白色のポリ容器で保管したもの

ひどく変質した灯油は、うす黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。

不純灯油

●灯油以外の油(ガソリン･軽油･食用油など)がほんの少しでも混入したもの
●水やごみが混入したもの
●灯油添加剤、燃焼促進剤などを添加したもの

灯油の保管のしかた

灯油は、必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。
直射日光が灯油を変質させるため、光のとおりにくい着色したポリタンク(灯油用)を使用してください。

○ 良い保管　　× 悪い保管

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息を吹きかけます。
●火の気のないところで行なってください。

灯　油　　ガソリン

ぬれたまま　　すぐに乾く

変質灯油・不純灯油を使用すると

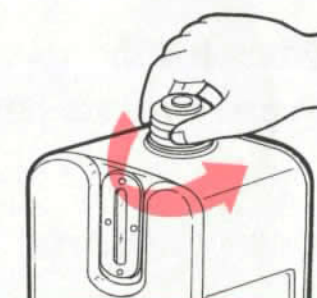
●点火しない
●使用中に消火する
●炎が伸び、スス(煙)が出る、などの原因になります

変質灯油・不純灯油を使ったとき

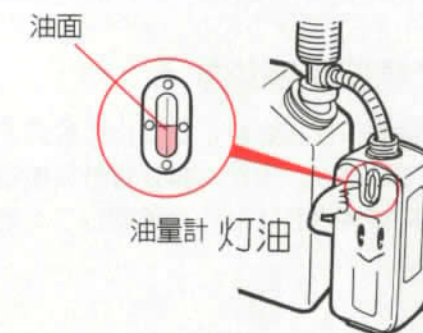
●給油タンク、油受け皿の灯油を抜きとり(21ページ参照)､給油タンクは良質の灯油で内部を2~3回洗ってから給油してください。
●悪い灯油を抜きとっても効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

給油のしかた　必ず消火してから行なってください。

1 給油タンクを取り出す

給油口口金をはずしてください。

2 給油する

油量計の中央に油面がくるまで、市販の給油ポンプで給油する。

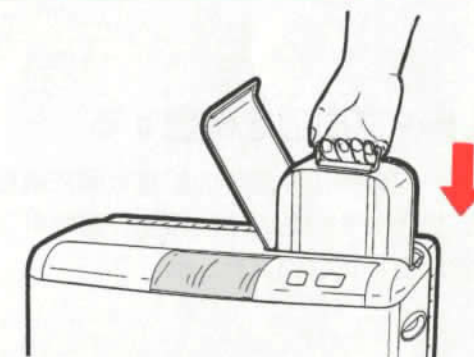
●こぼれた灯油はよくふきとってください。

3 給油口口金を確実に締める

口金を下にしても油漏れがないことを確認してください。

●他のストーブの給油口口金を使用しないでください。

4 給油タンクをセットする

給油ランプが消灯してから点火してください。

●初めての使用やシーズン最初、油切れで消火したときなど、給油ランプが点滅しているうちは、運転ボタンを押しても点火しません。

給油タンクの持ち運びには、上下2つあるとってを利用してください。

別設油タンク使用のときは

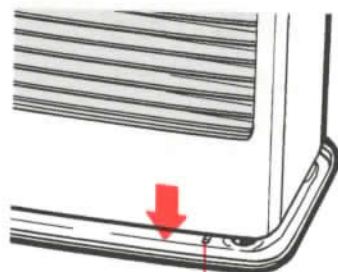
①油タンクの給油口ふたを外し、油量計の指針が「満」位置になるまで給油します。
●「満」以上は入れないでください。
②給油口ふたをしっかりとしめ、送油バルブを開きます。
●燃料切れに注意してください。

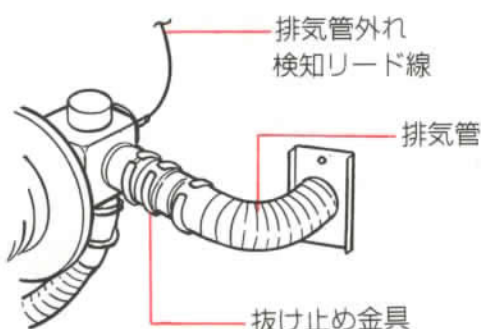
使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 定油面器をセットする

正面右下にあるセットレバーを2~3回押し下げてください。

●この操作を忘れますと、油が流れず、点火しません。

2 排気管接続部を確認する

給排気筒と確実に接続され、抜け止め金具で正しく固定されているか、また、排気管外れ検知リード線が確実に接続されているか確認してください。

3 電源を接続する

電源プラグを、コンセント(一般家庭用100V)にしっかり差し込んでください。

4 ストーブ周辺を確認する

ストーブの周辺や屋外の給排気筒先端部の近く等に、燃えやすいものや危険物が置かれていないか、確かめてください。

5 油もれを確認する

ストーブの下(置台の上)、油タンク、ゴム製送油管やその接続部等に、油もれや油だまりがないか確かめてください。

使用方法 運転のしかた

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

これっきりボタン運転 12

運転ボタン、切ボタンを押すだけの簡単操作

室温センサーが感知する情報をもとにマイコンがファジィ制御して運転します

点火

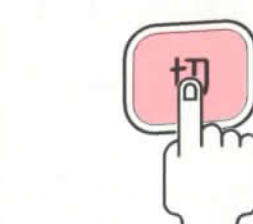
運転ボタンを押す

●運転ランプ(運転ボタン)点灯

●約50秒後に点火します

●点火時の室温が低い(約10℃以下)ときはしばらく若干高い熱量で暖房し、運転当初の肌寒さを防ぐため少し高めの温度で運転します(速暖ターボランプが点灯します)

●タイマー運転時、おさえめ運転中の再点火時、パワー選択の弱↔微運転・微連続運転を選択中は速暖ターボ運転はしません

消火

切ボタンを押す

●運転ランプ消灯

お好み設定

寒さやお部屋の大きさに応じて室温調節、パワー選択ができます

好みの室温をセット 14

室温調節ボタンを押す

室温/時刻合わせ 時 分

●押すごとに1℃づつ変わります

●8℃から32℃の範囲がセットできます

パワー選択 15

パワー選択ボタンを押す

パワー選択

●押すごとにおさえめ運転・おさえめ/弱↔微組合わせ運転・弱↔微運転・微連続運転・パワー選択解除に切り換わります

チャイルドロック 15

お子様のいたずら操作を防止します

停止中に切ボタンを5秒以内に5回押す

切

●チャイルドロックランプ点灯

タイマー運転

おはようタイマー

朝おめざめの時刻に設定室温になるよう運転します

現在時刻をセット 16

時刻設定ボタンを押す

時刻設定

時刻合わせボタンで時刻を合わせる

再度時刻設定ボタンを押す

●現在時刻がセットされます。

おはようタイマーボタンを押す

●おはようタイマーランプ点滅

あたためておきたい時刻をセット 16

時刻合わせボタンを押す

セットした時刻に近づくと運転

おやすみタイマー

1時間運転後、自動停止します

これっきりボタン運転中でもセットできます

おやすみタイマーボタンを押す 17

●おやすみタイマーランプ点灯

1時間運転後自動消火

●ランプ消灯

使用方法 これっきりボタン運転

点　火

運転ボタンを押す

設定室温と現在室温の差が3℃以上のときはオレンジで、2℃以内のときはグリーンで運転ランプが点灯します。燃焼用送風機も運転します。
●デジタル表示に「設定室温」「現在室温」が表示されます。

設定室温 現在室温

あらかじめ設定室温は22℃にセットされています。

約50秒後に点火します。

運転ボタンを押してから約4分30秒たちますと温風ファンが回り、温風が出ます。

設定室温になるように室温センサーが室温をキャッチし、マイコンで熱量をファジィ制御します。
点火時の室温が低い（約10℃以下）ときは、点火後しばらく「強」燃焼より若干高い熱量で暖房（速暖ターボランプ点灯）し、お部屋の温度が設定室温に達したら、しばらく設定室温より少し高めの温度で運転します。
（運転当初は冷えている壁や床に熱が奪われ、設定した室温より肌寒さを感じるのを防ぐためです。）

お願い

●初めての使用、シーズン最初の使用、長期間使用しなかったときなどは、バーナーへの送油パイプ内が空になっており、点火操作しても点火せず、デジタル表示に［ ］が表示されることがあります。
このようなときは切ボタンを押し、再度運転ボタンを押して点火してください。

●点火後、しばらくして自然に消火し、デジタル表示に［5］が表示されているときは、定油面器に油が流入していないことが考えられます。
切ボタンを押し、定油面器をセットしなおしてください。（10ページ参照）

●正しい点火操作を行っても点火せず、デジタル表示に［ ］が表示されているときは、点火ヒータの故障等が考えられます。切ボタンを押し、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。

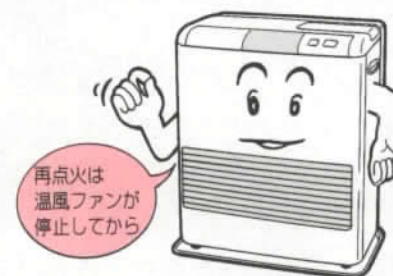
消　火

切ボタンを押す

「運転ランプ」が消灯し、約50秒ほどで消火します。

●温風ファンはストーブが冷えると自動的に停止します。
●外出するときは、必ず消火してください。
●長期間留守にするときは、必ず電源プラグを抜いて電源を切ってください。

消火後再点火するとき

「切ボタン」を押した後、すぐに運転したい場合でも、温風ファンが止まるまでお待ちください。すぐに「運転ボタン」を押しても、消火操作後約5分間は運転が開始されません。

お 願 い

緊急時や長時間使用しないとき以外は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
燃焼中に電源プラグを抜きますと、のぞき窓のくもりや異常点火の原因となります。

停電や地震があったとき －安全装置が作動して運転を停止します。－

■停電があったとき（電源プラグがコンセントから抜けたときも同じです。）

再び通電されても運転しません。再点火はストーブが冷えてから行なってください。
●暖かいうちに点火操作しますと、過熱防止装置が動作することがあります。
●現在時刻、おはようタイマー運転時刻、設定室温、パワー選択の記憶が解除されます。
それぞれセットしなおしてください。

■地震（強い衝撃）があったとき

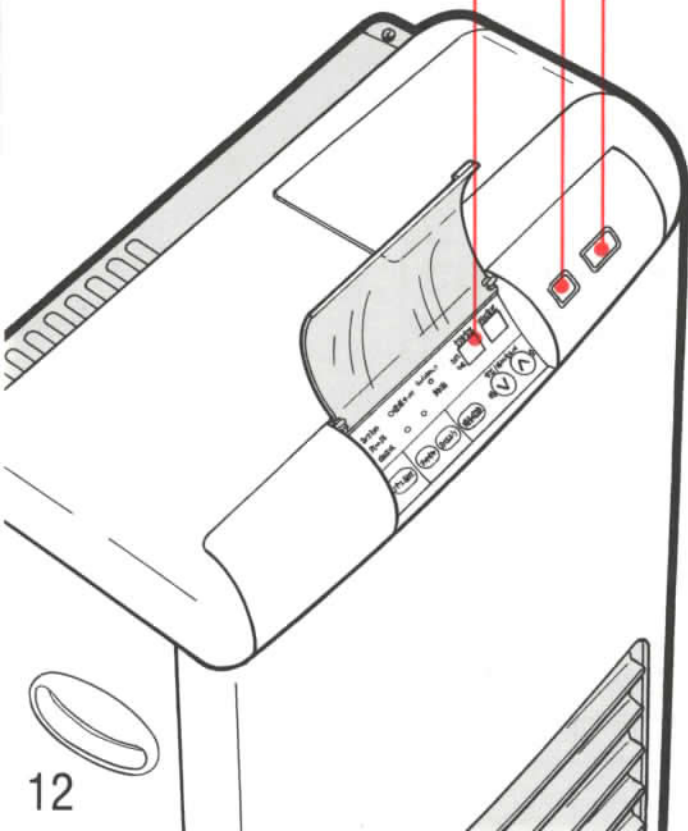
デジタル表示に［2］を表示します。
●切ボタンを押すとデジタル表示は消えます。
●再点火は温風ファンが止まってから、周囲の安全を確認して行なってください。

お好み設定

室温の調節

室温調節ボタンを押す

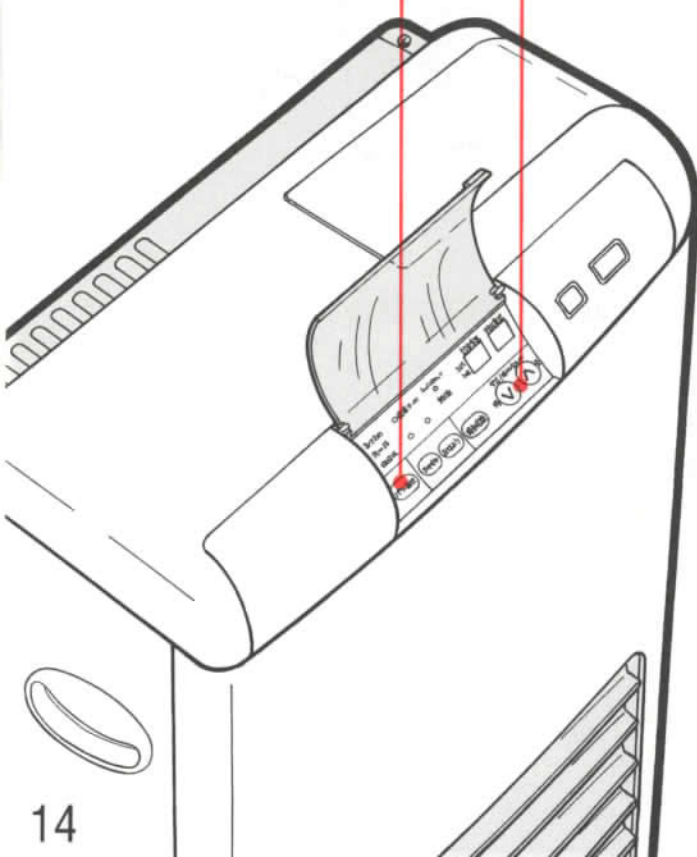
設定室温

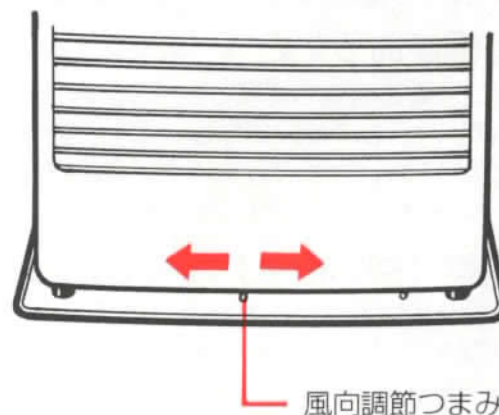
時

押すごとに1℃ずつ変わります。

デジタル表示の設定室温を見ながらセットします。

- 室温は8℃から32℃の範囲がセットできます。
- 「現在室温」は5℃から36℃の範囲が表示されます。
- 「設定室温」は、一度セットすれば記憶しています。
- 現在室温は部屋の温度の目安です。
温度計とは一致しないことがあります。

室温調節ボタン

パワー選択ボタン

風向調節のしかた

このストーブは、温風の向きを左・右方向に変えられる風向板が、温風吹出口の内側にあります。
フロントカバーの下部(中央)にある風向調節つまみを左にすると左方向に、右にすると右方向に温風の向きを調節できます。

パワー選択

運転ボタンを押してから操作します。
パワー選択ボタンを押しただけでは運転しません。

〈セットのしかた〉

パワー選択ボタンを押してセットします。
押すごとに次のように切り換わります。

〈初期〉〈パワー選択解除〉 → 〈おさえめ運転〉 → 〈おさえめ運転と弱↔微運転併用〉 → 〈弱↔微運転〉 → 〈微連続運転〉

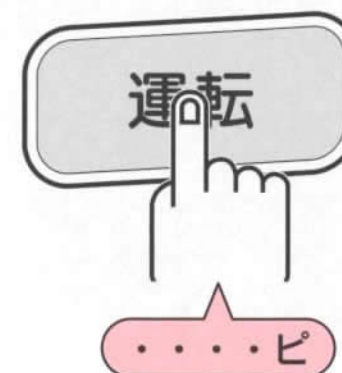
	〈初期〉〈パワー選択解除〉	〈おさえめ運転〉	〈おさえめ運転と弱↔微運転併用〉	〈弱↔微運転〉	〈微連続運転〉
おさえめ	○	●	●	○	○
弱↔微	○	○	●	●	○
微連続	○	○	○	○	●

●おさえめ運転	外気温が高いときや小さな部屋でお使いのとき、「微」燃焼でも「設定室温」より上がることがあります。 このようなときは「設定室温」より約3℃上がると自動消火し、「設定室温」まで下がると自動点火して、室温の上がりすぎをおさえる運転をします。 ●現在室温が設定室温より高いときは「運転ボタン」を押しても点火しません。(運転ランプは点灯する)室温が下がれば自動的に点火します。 ●「消火」の制御が加わるため、点火・消火時に屋外に臭気が出ます。ご近所に迷惑がかかるときは「おさえめ運転」おやめください。
●弱↔微運転	「強・中」燃焼をカットした「弱・微」燃焼の制御となります。 ●春先、秋口、および暖房する部屋を2部屋から1部屋にするなど狭くした場合に適します。
●微連続運転	室内温度、設定室温に関係なく、「微燃焼」の静かな運転を続けます。

ちょっとひとこと

- 「おさえめ」運転と「弱↔微」運転は併用できますが、「微連続」運転は併用できません。
- 「おさえめ」・「弱↔微」運転はセットを解除しないかぎり切ボタンを押しても記憶しています。
「微連続」運転は切ボタンを押すとセットは解除します。

チャイルドロック

お子様のいたずら操作を防止します。

〈セットのしかた〉

停止中に、切ボタンを5秒以内に5回押す。

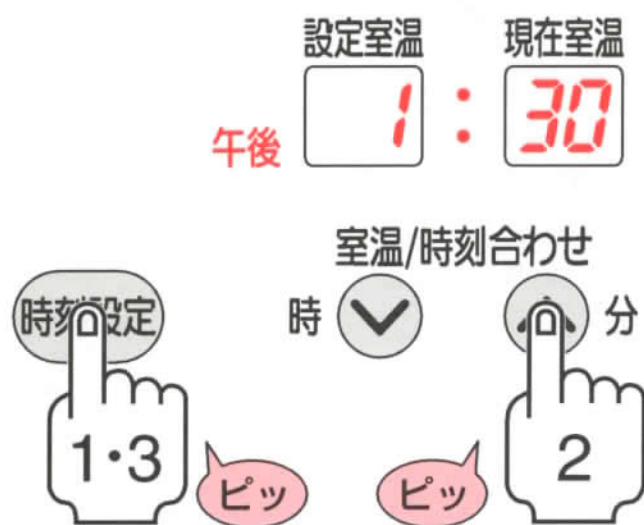
- ロックされ、チャイルドロックランプが点灯して、すべての操作ができなくなります。

〈解除のしかた〉

運転ボタンを5秒以内に5回押す。

- ロックが解除され、チャイルドロックランプが消灯します。

使用方法 タイマー運転

現在時刻のセット

（例）午後1時30分に合わせる場合

1 時刻設定ボタンを押す

2 時刻合わせボタンを押し、時刻を合わせる

●Ⓥ(時)を押すと1時間づつ進みます。
Ⓐ(分)を押すと1分づつ進みます。
●押し続けると連続して進みます。

3 時刻設定ボタンをもう一度押す

コロンが点灯し、現在時刻がセットされます。
●長期間の使用で時計がずれることがあります。
その場合は現在時刻をセットしなおしてください。

●電源プラグを抜いたときや停電時には、現在時刻、おはようタイマー運転時刻の記憶が解除されます。そのときは再セットしてください。

おやすみタイマー運転の方法

1「おやすみタイマーボタン」を押す。

「運転ランプ」「おやすみタイマーランプ」が点灯し、通常の点火が行われます。
●消火したいときは「切ボタン」を、運転を続けたいときは、「運転ボタン」を押してください。

2 1時間運転した後、自動消火します。

●「おやすみタイマーボタン」を再度押すと、その時点から更に1時間運転します。

運転中に「おやすみタイマーボタン」を押すと、そのまま運転を続け1時間後に自動消火します。

おはようタイマー運転の方法

（例）午前6時30分に暖める場合

1 おはようタイマーボタンを押す

●おはようタイマーランプが点滅し、デジタル表示に暖めておきたい時刻を表示します。
●初めてお使いになるときは、午前5時00分を表示します。

2 時刻合わせボタンを押し、暖めておきたい時刻を合わせる

●おはようタイマーランプが点滅中に時刻を合わせてください。
●合わせかたは現在時刻の合わせかたと同じです。
●時刻を合わせたあと、おはようタイマーランプが10秒間点滅した後自動的に点灯に変わると、おはようタイマー運転がセットされます。
●時刻を合わせるまえに、おはようタイマーランプが点滅から点灯に変わったときは1からやり直してください。

自動点火する

お部屋の温度、前回の運転情報等を加味し、セット時刻の10～60分前（お部屋の温度が低いほど早く）に運転を始めます。
運転を開始すると、運転ランプが点灯し、デジタル表示は室温表示になります。

●セットした時刻は記憶されます。
同じ時刻で運転するときは、おはようタイマーボタンを押すだけで運転できます。

●すぐに運転したいときは運転ボタンを、停止したいときに切ボタンを押してください。

●セット時刻を変更したいときは、再セットしてください。

●運転中におはようタイマーボタンを押すと一度消火し、デジタル表示された時刻のおはようタイマー運転になります。

●おはようタイマー運転中に運転ボタンを押すと、これっきりボタン運転になります。おはようタイマーランプは消灯します。

●おはようタイマーボタンを押したときデジタル表示に 88 88 が表示された場合は、現在時刻がセットされていません。
現在時刻をセットしてからおはようタイマー運転をセットしてください。

使用方法

タイマー運転

おやすみ・おはようタイマー運転の同時使用方法

1「おやすみタイマーボタン」を押す。

「おやすみタイマーランプ」「運転ランプ」が点灯し、通常の運転が始まります。

運転中でもこのセットは可能です。

2「おはようタイマーボタン」を押す。

「おはようタイマーランプ」が10秒間点滅した後、点灯に変わります。

3 1時間運転した後、自動消火します。

「おはようタイマーランプ」のみ点灯しています。

4 セット時刻より前に自動的に運転が始まり(「運転ランプ」が点灯する)、セット時刻にはお部屋が暖まっています。

「おはようタイマーランプ」はセット時刻になると消えます。

ボタンセット時のご注意

- 停止中は「おやすみ」･「おはよう」どちらのボタンを先に押してセットしても、運転動作は変わりません。
- 運転中に「おはようタイマーボタン」･「おやすみタイマーボタン」の順で押すと、一度消火してから「おやすみタイマー運転」、その後「おはようタイマー運転」となります。
  また「おやすみタイマーボタン」･「おはようタイマーボタン」の順で押すと、そのまま消火せずに「おやすみタイマー運転」(1時間)を続け、その後「おはようタイマー運転」となります。
- 同時使用するとき1時間以内の「おはようタイマー運転」のセットをしても「おはようタイマー運転」はしません。
- 「おはようタイマーボタン」･「おやすみタイマーボタン」の順で押す場合、「おはようタイマーランプ」が点滅中に「おやすみタイマーボタン」を押してしまうと、「おはようタイマー運転」はセットされません。
  「おはようタイマーランプ」が点灯に変わってから「おやすみタイマーボタン」を押してください。

安全装置

異常が生じたとき作動して自動消火します。
切ボタンを押し(表示は消えます)、処置をしてください。
原因がわからないときや、処置をして点火操作をしても運転しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全装置	作動の原理	デジタル表示	処置
対震自動消火装置	●地震(約震度5以上)のとき ●強い振動や衝撃を受けたとき	2	本体と周囲に異常がないことを確かめる
過熱防止装置	●温風ファンガードにほこりがたまったり、カーテンなどでふさがれたとき ●前方に障害物がある	2 または E 04	ほこりやカーテン、障害物などを取り除く
	●壁面との間が狭い		規定の間隔をとる
	●温風ファンの故障		修理を依頼する
停電安全装置	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	すべてのランプが消灯	再通電後、本体が冷えるまで待ってから点火操作する タイマーなどセットしなおす
点火安全装置 燃焼制御装置	●点火ミスのとき	1	もう一度点火操作する
	●油切れのとき(別設油タンク使用の場合)	5	給油する
	●電磁ポンプが故障したとき	1 か 5	修理を依頼する
	●不良灯油を使用したとき		油受け皿内の油抜きをする
	●定油面器がセットされていない		定油面器をセットする

点検・手入れ　必ず消火し、本体が冷えてから行なってください。

日常の点検・手入れ

●日常の点検・手入れは必ず行なってください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
●バーナ部、電気部品、対震自動消火装置などは、絶対に分解しないでください。
修理は高度な技術を要しますので、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

使用ごと

本体の周囲

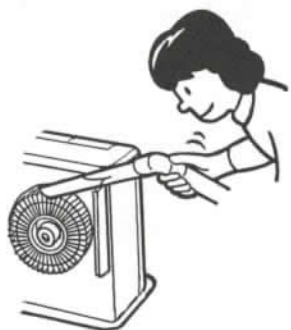
●燃えやすいものがあったら取り除く。
●カーテンは近づけないようにする。

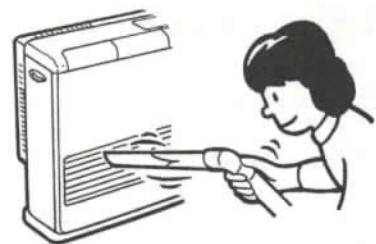
油漏れ、油のたまり、油のにじみ

●置台、ストーブ本体などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検する。
●ふきとっても同じところに油漏れ、油のたまり、油のにじみができる場合は、使用をやめてお買い上げの販売店に修理依頼する。

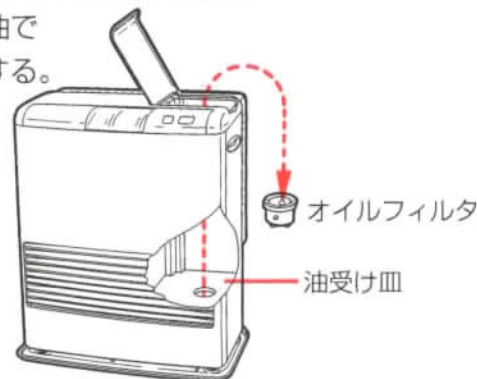
週に1回以上

送風機ガード

ほこりが付着しているときは、背面カバー(上)をはずし、掃除機で吸い取る。

本体表面・温風吹出口

●ほこりが付着しているときは、ふきとるか掃除機で吸い取る。
●異物がはさまっているときは、割ばしなどで取り除く。

月に1回以上

オイルフィルタ

ごみで目詰まりしているときは、きれいな灯油ですすぎ洗いする。

オイルフィルタ
油受け皿

給油口口金

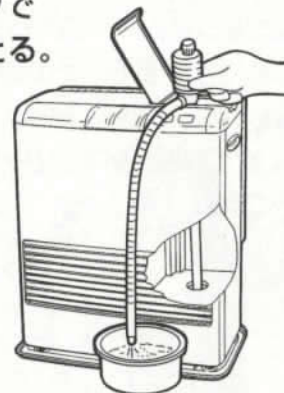
通気口がごみでふさがれているときは、針などで取り除く。

シーズンに1回以上

油受け皿の水抜き

●油受け皿に水がたまると、給油タンクに灯油が入っていても点火しません。
次の要領で油受け皿の水抜きを行なってください。
●変質灯油、不純灯油を誤って使用してしまったときは、油受け皿の油抜き、水抜きをおこなった後、新しい良質の灯油で清掃してください。

1 給油タンクを取り出し、油受け皿からオイルフィルタを外す。

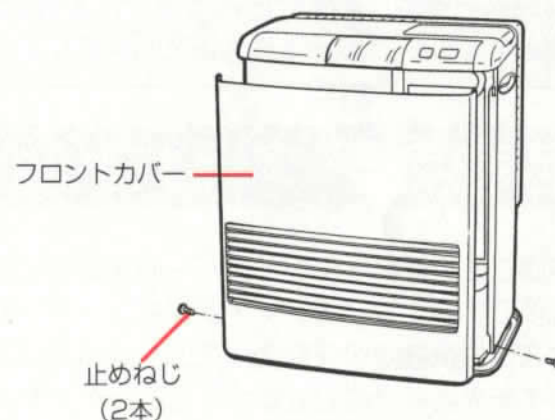
2 市販の給油ポンプで水(灯油)を抜きとる。

3 抜けきらなかった水(灯油)は、付属のスポイトを左前方側に深く差し込んで抜きとる。

4 油受け皿内に付着している水をふきとり、オイルフィルタ、給油タンクを取り付ける。

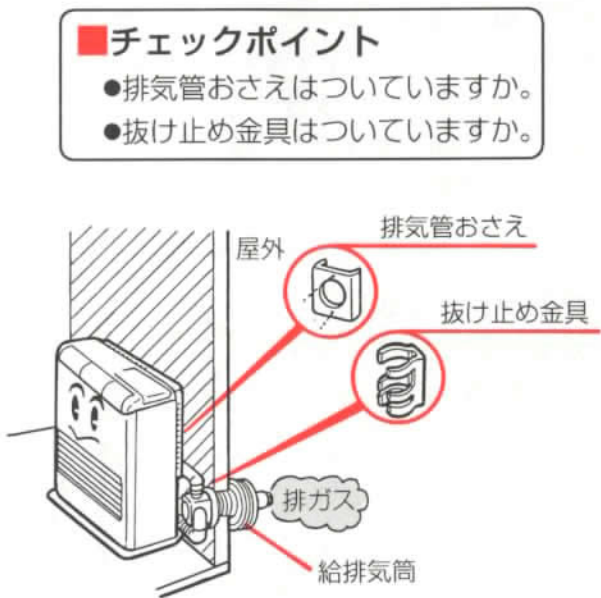
異物が入ったときの処置方法

ストーブの内部に異物などが入りますと、故障や火災の原因となります。
特にお子様が温風吹出口グリルより紙やプラスチックなどを入れることがありますので、じゅう分注意してください。
もし異物が入ったときは、消火して本体がよく冷えてから電源プラグを抜き、フロントカバーを外して取り除いてください。

●フロントカバーは図のように止めねじ(2本)をドライバーで外し、手前に引きながら下に下げると取り外せます。

点検・手入れ

給排気筒 … 月に1回

- 給排気筒先端が袋等で覆われていれば取り除く。
- 給排気筒先端の周囲に可燃物などがあれば取り除く。
- 異物やごみなどで詰まっていれば取り除く。
- 給気、排気の接続部が外れていたり、ゆるんでいたり、臭いがしたり、まわりがすすけてきたときは、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本体を都合により動かした場合（畳替え、じゅうたんの張り替え、収納、再据付けなど）には、必ずお買い上げの販売店に点検および再据付けをご用命ください。

■チェックポイント
- 排気管おさえはついていますか。
- 抜け止め金具はついていますか。

お　願　い

熱交換器、バーナ内の清掃、バーナ内に油が溜ったときの油抜き、定油面器のストレーナのお手入れ、点火ヒータの点検・交換等は、分解・手入れに高度の技術を要しますので、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

別設油タンク使用の場合

- 油タンク内に水（ドレンという）が溜っていないか点検し、水が溜っているときは、油タンクの取扱説明書を参照して水抜きをしてください。
- 本体と油タンクを結ぶ「ゴム製送油管」にひび割れがないか点検し、異常があればお買い上げの販売店に交換を依頼してください。
  なお、ゴム製送油管は経年劣化します。3年に1回は新しいものと交換してください。

定期点検

長期間ご使用になりますと、万一の事故を未然に防止するためと、快適にご使用いただくために機器の点検が必要です。1シーズンに1回程度シーズンの終了後などにお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）〕などのいる販売店等に点検依頼されることをおすすめします。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

燃焼のぐあいの悪いときは、次の表を参考にして調整、処置してください。
ご不審な点がありましたらただちに使用をやめて、お買い上げの販売店にご相談ください。

原因 ＼ 現象	油がでない	点火しない	炎が大きくならない	スス(煙)が出る	燃焼音がはげしい	油がもれる	対流用送風機が回らない	炎が安定しない	点火後しばらくして消火した	処置方法	参照ページ
油タンクに油がない	●	●							●	灯油(JIS1号灯油)を給油する	9
定油面器の故障	●	●				●			●	販売店に修理を依頼する	−
定油面器がセットされていない	●	●							●	定油面器セットレバーを2〜3回押し下げる	10
油配管の締付けが不完全	●	●				●				販売店に依頼して、確実に締付けてもらう	−
給排気筒が不完全、排気管または給気ホースが外れている		●	●	●	●			●		販売店に依頼して、正しく設置あるいは取り付けてもらう	22
電源プラグやスイッチが不完全	●	●		●			●			販売店に修理を依頼する	−
停　電	●	●					●		●	通電するまで待つ	13
燃焼用送風機の故障		●		●	●			●	●	販売店に修理を依頼する	−
燃焼用送風機の羽根にごみやほこりが付着している				●	●			●		販売店に修理を依頼する	−
対流用送風機の故障							●		●	販売店に修理を依頼する	−
電磁ポンプの故障	●	●	●	●	●			●	●	販売店に修理を依頼する	−
点火ヒータの故障		●								販売店に修理を依頼する	−
制御部品の故障	●	●	●	●			●		●	販売店に修理を依頼する	−
油タンクの据付け高さが低い（別設油タンク使用時）	●	●						●	●	ストーブ本体と同じ高さの床面に置く	39
ゴム製送油管に空気が入っている（別設油タンク使用時）	●	●						●	●	送油管を振って空気を抜く	28

故障かな？と思ったら

次のような現象の場合は異常ではありません。下表を参考にしてもう一度確認してください。

現　　象	確認事項および理由
停電等により電源が一時切れ、再通電しても運転が再開しない	自動的に運転は再開しない構造になっています。ストーブが冷えていることを確認してから運転してください。（気付かないような瞬時の停電でも運転は再開しない）
おはようタイマー運転をしたがセットした時刻になっても点火しない	●運転ボタンを押して、運転するか確かめてください。 ●途中で停電があり、おはようタイマーのセットが解除されたためです。点火する際は運転ボタンを押してください。
点火時や消火時にキシミ音がする	バーナ部、熱交換器等が膨張、収縮する音で、心配ありません。
初めて点火したときに、においが出る	塗料などの焼けるにおいです。においがなくなるまで（強燃焼で約30分ほど）窓をあけて運転してください。
運転中、ストーブが消火した（運転ランプは点灯している）	室温センサーがはたらいて消火したものです。室温が下がれば再び点火します。
室温が常に一定でない	室温調節は、燃焼の"強・中・弱・微・消火"によって行いますので、室温は多少上下動します。
好みの室温になりにくい	設置条件などにより、室温センサー部の温度とお部屋の温度に違いがあるためです。室温センサーの位置を移動してください。（38ページ参照）
燃焼中にストーブが消火し、再点火操作をしても火がつかない	灯油がなくなり、油切れ検知装置が働いています。給油し、再点火してください。
使用中や消火後でも、ときどき「ポコポコ」という音がする	ご使用中は、給油タンクから油が出るときに、空気が入る音です。消火後でも音がするときは、室温の変化によってタンク内に空気が入る音です。故障ではありません。

故障・異常をデジタル表示でお知らせします。

E 00・E 01・E 04・E 05・E 06・E 08

と表示され、ブザーが鳴ったときは故障です。
お買い上げの販売店に修理を依頼するときは、表示値をお知らせください。

　1・　2・　5・E 04 が表示されたときは、異常状態です。

19ページを参考にして処置してください。

●「切ボタン」を押すと、故障・異常の表示は消えます。

部品交換のしかた

長期間の使用による部品劣化などで部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店・または最寄りの「日立家電品ご相談窓口」にお問い合わせいただき、〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店などに依頼されることをおすすめします。
●バーナ部、電気部品、対震自動消火装置などは、絶対に分解しないでください。
●交換部品（消耗部品）は、必ず日立温風クリアヒーター用の純正部品をご使用ください。

保　管（長期間使用しない場合）

シーズンオフには、つぎのようなお手入れをして、設置したままで保管してください。

1 保管前に

特別な理由のない限り、ストーブを取り外しておしまいにならないでください。
やむをえず取外した場合は、来シーズンは必ずお買い上げの販売店に依頼して、給排気筒などの接続部を傷めないよう、確実な据付けを行なってください。

2 ストーブの清掃をする

●ストーブ外側のよごれやほこり等を、きれいに掃除してください。
●ストーブ内部の清掃は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

3 油を除去する

給油タンクおよび油受け皿はからにして、内部にごみや水（ドレン）が残らないようきれいな灯油でよく洗い、乾燥させてください。
ごみや水が入ったまま保管しますと、サビの発生や穴あきの原因となります。

4 保管する

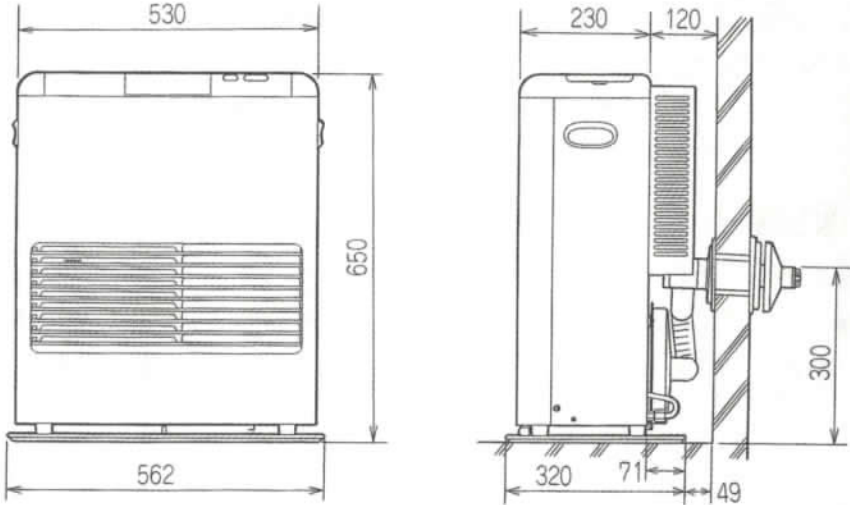
●電源プラグをコンセントから抜いてください。
●ストーブには、ほこりなどが入らないようなカバーをかけて保管してください。
　なお、別売部品に本体カバー（KHC-40）がありますので、ご利用ください。

仕　様

形式の呼び		KH-B45D	KH-B55D
種類		ポット式・強制対流形・強制給排気形	
点火方式		電気点火	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
暖房出力	最大	4.50kW・16,200kJ/h	5.47kW・19,670kJ/h
	最小	1.94kW・ 6,990kJ/h	1.94kW・ 6,990kJ/h
発熱量 熱効率	最大	18,930kJ/h 熱効率：85.6%	22,970kJ/h 熱効率：85.6%
	最小	8,150kJ/h 熱効率：85.8%	8,150kJ/h 熱効率：85.8%
燃料消費量	最大	0.511L/h	0.62L/h
	最小	0.22L/h	0.22L/h
油タンク容量		5L	
外形寸法		高さ650mm　幅562mm　奥行320mm（置台を含む）	
質量（重量）		25.5kg	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力		最大(点火時)：96/89W　燃焼時：35/40W	
給排気筒の型式の呼び		KT-3S	
給排気筒の呼び径		D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径		65～70mm	
排気温度		260℃以下	
電流ヒューズ		7A	
安全装置		対震自動消火装置・過熱防止装置・停電安全装置・燃焼制御装置・点火安全装置	
附属品		置台・外フランジ・フランジパッキン・絶縁シール・本体固定金具(1) 背面カバー(一式)・スポイト・別設油タンク用ニップル・エアダンパー(3) ねじ(20mm×4・8mm×1)・ゴム栓・薄壁用ねじキャップ	

●給排気筒接続部Oリング：JIS B 2401　4種D P39

外形寸法図　単位：mm

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年です。

修理を依頼されるときは　出張修理

修理を依頼される前に「故障・異常の見分け方と処置方法」（23ページ）および「故障かな？と思ったら」（24ページ）を調べていただき，なお異常のあるときは、故障や事故防止のため、ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名	日立温風クリアヒーター
形式の呼び	KH-B45DまたはKH-B55D
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※形式の呼びは、本体側面の銘板に表示されています。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

密閉式石油ストーブの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後7年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等設備・一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合もあります。

転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられない場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
なおこの製品は再据付工事が必要となりますので、転居先の販売店にご相談、ご用命ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

点検・修理・再据付けに関する相談並びにその費用など、ご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

据付け

据付け場所の選定および標準据付け例

●ストーブの据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準、石油燃焼機器の設置基準等による規制があります。
工事編の「安全のため必ずお守りください」をお読みになり、販売店または据付け業者とよく相談してください。
●標準据付け例については30ページを参照してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度工事編の「安全のため必ずお守りください」をお読みになり、工事編に記載されているとおり据付けられているか確認してください。

試運転

試運転は販売店または据付け業者とご一緒に必ず行なってください。

■運転準備（詳しくは8〜10ページを参照してください。）
- ●給油タンクまたは別設油タンクに灯油（JIS 1号灯油）を給油してください。
- ●電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
- ●右下にある定油面器セットレバーを2〜3回押し下げてください。
- ●ストーブの下部（置台の上）などに、油もれや油だまりがないか確かめてください。
- ●別設油タンクを使用のときは、油タンクの送油バルブを開き、一度ゴム製送油管を振って空気抜きをしておいてください。（ゴム製送油管内に空気だまりがあると油が流れません。）

■運　転（詳しくは11〜18ページを参照してください。）
- ●初めてお使いになるときは、油が定油面器に入るまで5分ほどかかりますので、点火するまで多少時間がかかります。
- ●試運転時、塗装の焼けるにおいがすることがあります。30分ほど窓を開けて運転してください。
- ●運転ボタンを押してから約4分30秒たちますと、自動的に対流用送風機が回って温風が出ます。
- ●設定温度を変え、燃焼が変わるのを確認してください。

■消　火（詳しくは13ページを参照してください。）
- ●消火操作後は約50秒で火が消え、しばらくして温風も止まることを確かめてください。

〔以上で試運転は完了です。〕

工事説明書（工事編）

据付け工事の前に、この工事説明書をよくお読みのうえ正しく据付けてください。
なお、この説明書は必ず保存してください。

安全のため必ずお守りください

正しく、安全に据付けていただくために、この説明書では次のように区分して表示しています。その内容をよく理解したうえで据付けてください。

⚠警告	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡・重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味

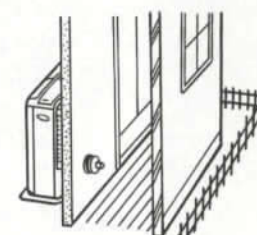
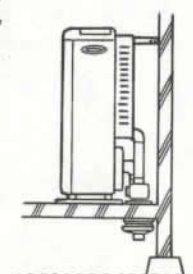
この絵表示は「禁止」事項を示しています。

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

据付けや移動は販売店へ依頼する。
●ご自分で据付けをされ不備があると、感電や火災の原因になります。

法令の基準を守る
火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事は指定の工事店に依頼する、など法令の基準を守る。

屋内給排気禁止
必ず屋外に排気してください。
●排ガスが室内に充満して危険です。

床下給排気禁止
必ず屋外に排気してください。
●排ガスが室内に漏れて危険です。

外れ危険
排気管・給気ホースと給排気筒は確実に接続し、しっかりと固定してください。
●風・振動・衝撃などで外れたりすると、運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

給排気筒トップ閉そく危険
積雪の多いときに給排気筒トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。
また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。
●運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。